

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(小児科定点、インフルエンザ定点)

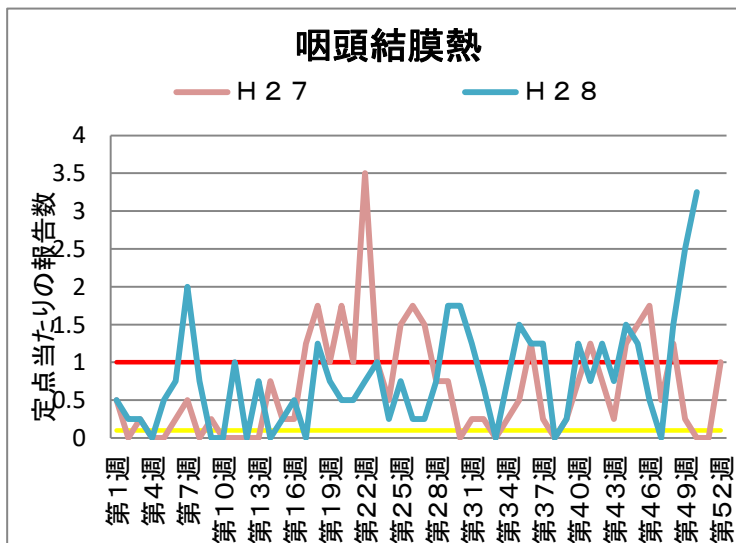
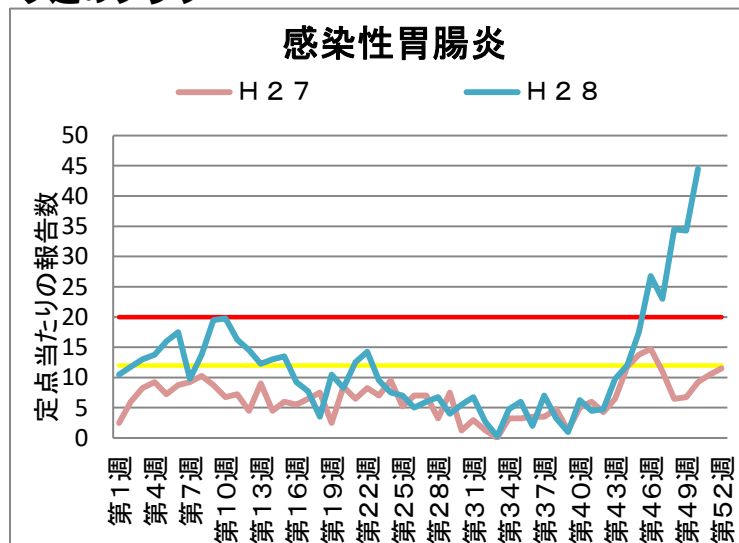
第 50 週 平成28年12月12日 ~ 平成28年12月18日

今週のコメント

○ 感染性胃腸炎の流行が続いており、乙訓では昨シーズンのピークの3倍まで増加しています(定点あたり44.5件)。全国的にも、直近5年間で最も流行した平成24年のピークに迫る勢いで流行しています。検出されているノロウイルスはGII.2の変異株であることが判明しており(国立感染症研究所)、ウイルスに対する免疫を持たない人が多いと考えられます。全国的に食中毒も多発しています。①手洗い(トイレの後、食事の前など)にしっかりと石けんと流水による手洗い ②食中毒の予防(食品の加熱など) ③適切な嘔吐物・便の処理(塩素系消毒薬による消毒)を心がけ、感染を予防しましょう。詳細は「ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)」をご覧ください。

○ インフルエンザ、咽頭結膜熱、水痘も増加しているので注意しましょう。

今週のグラフ



* ——— 流行警報基準値です ——— 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	2.86	手足口病	0.25
RSウイルス感染症	1.5	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	3.25	突発性発しん	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	百日咳	-
感染性胃腸炎	44.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	2.75	流行性耳下腺炎	0.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

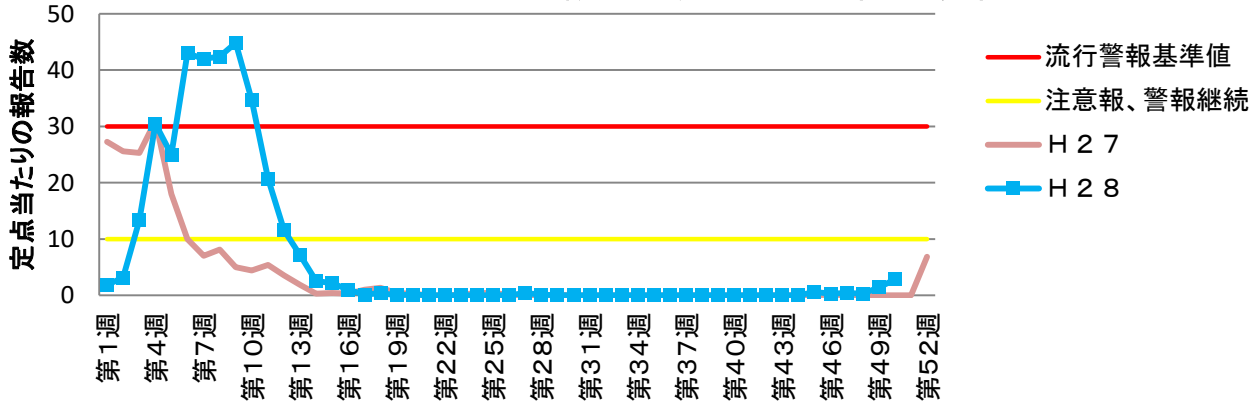
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

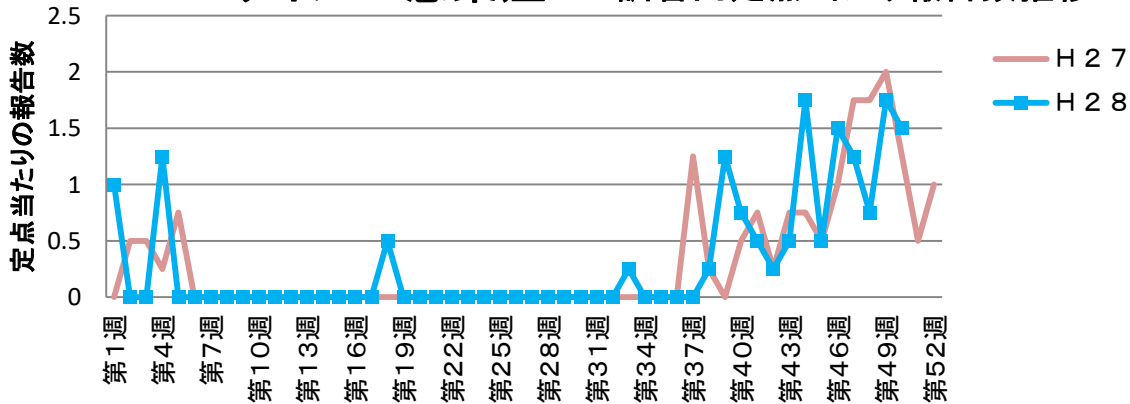
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

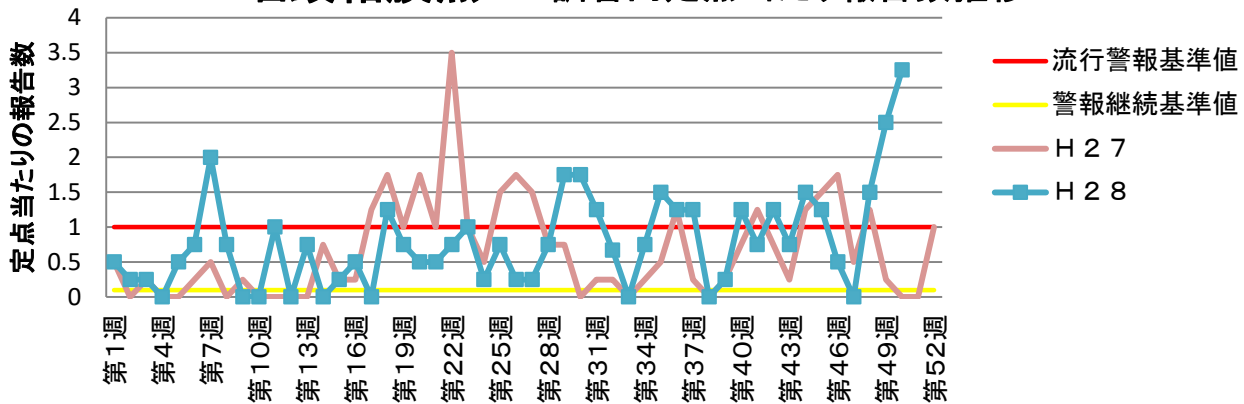
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



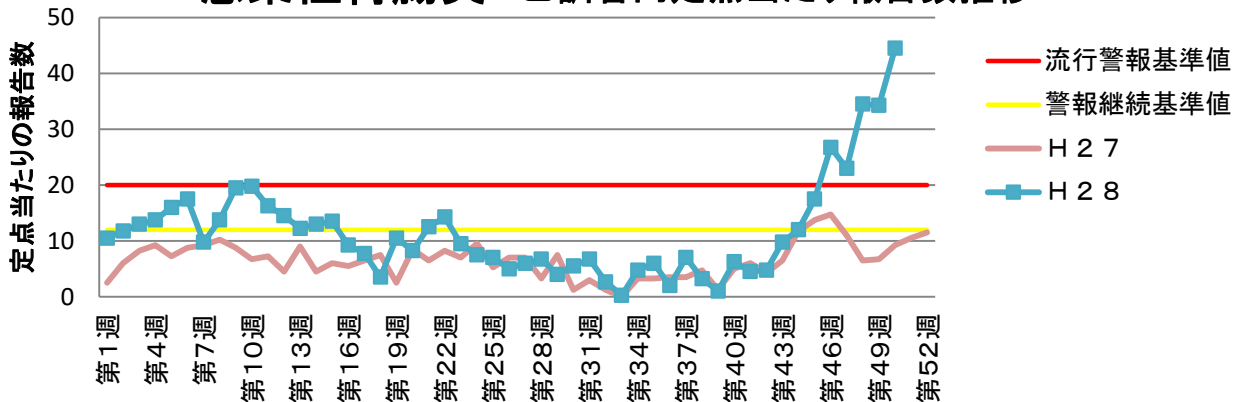
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



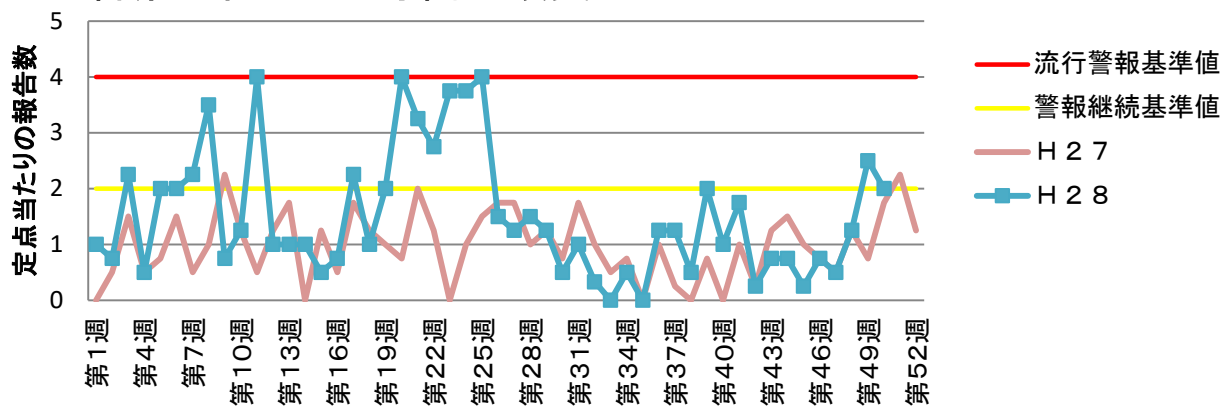
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



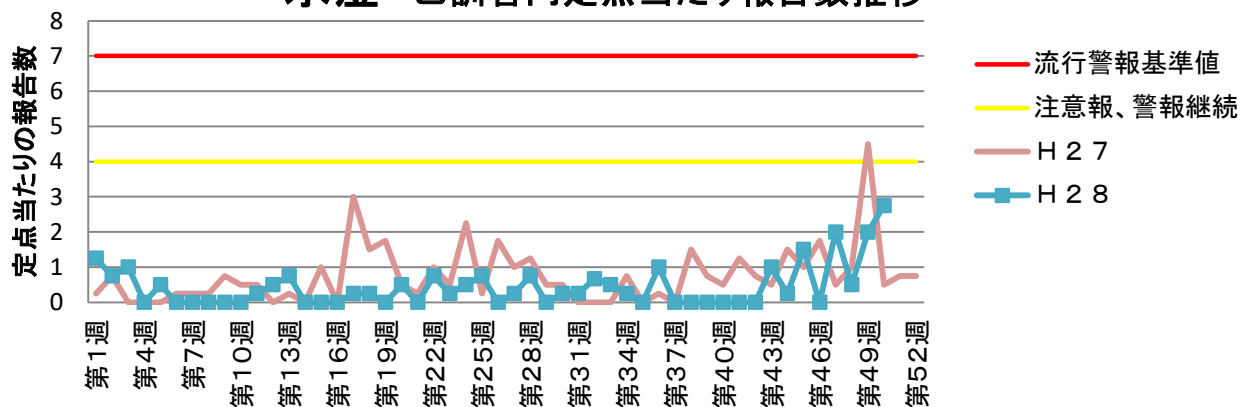
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



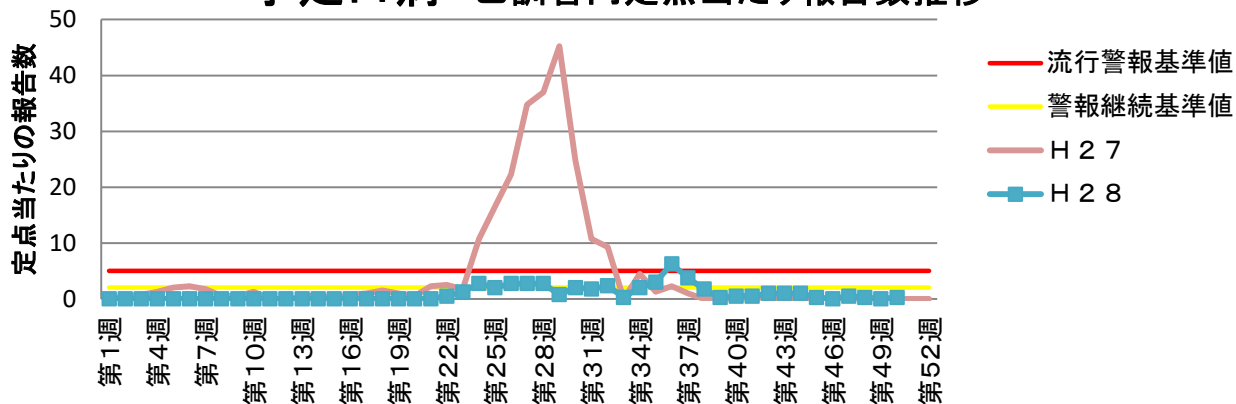
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



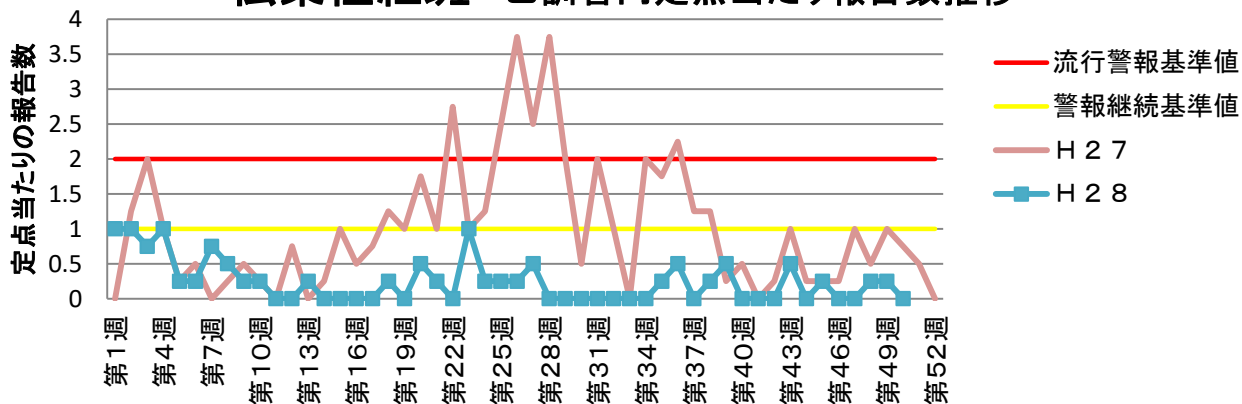
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



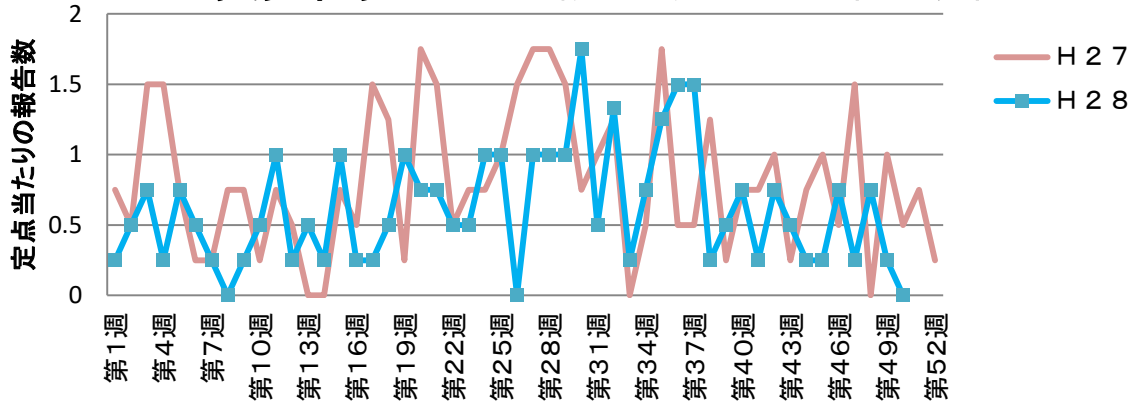
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



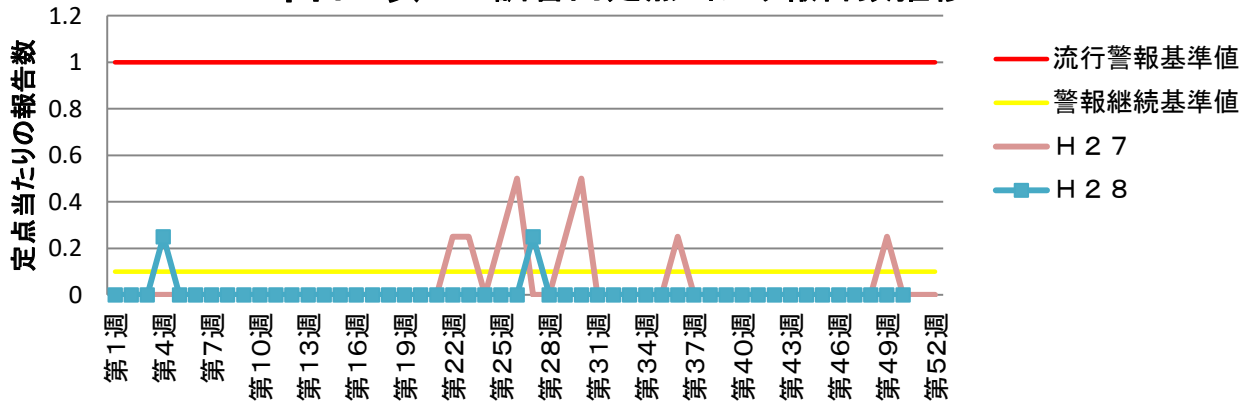
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



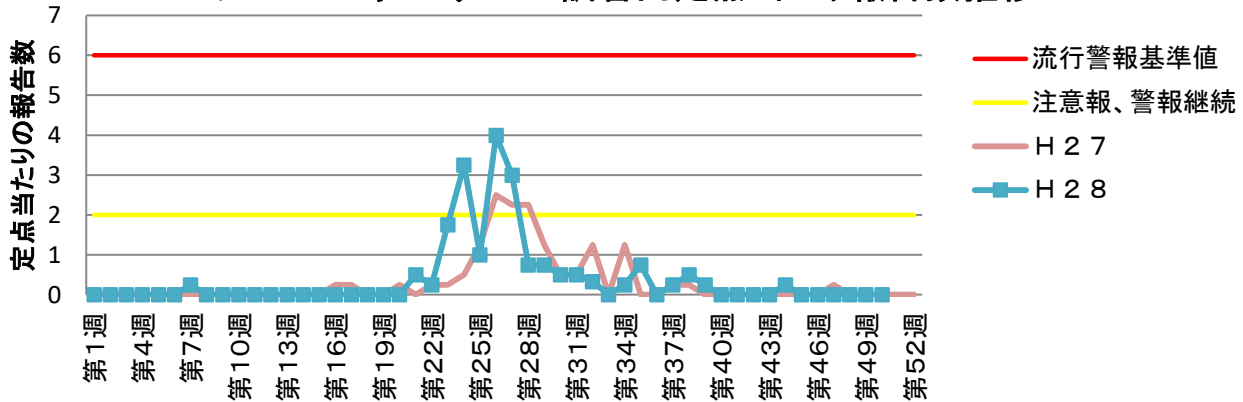
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

